

令和3年度（2021年度）第7回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和3年（2021年）10月11日（月）午前10時～11時

場 所：CPDホール

出 席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	平井 宏英
文学部長	鈴木 元（リモート参加）
環境共生学部長	石橋 康弘（リモート参加）
総合管理学部長	澤田 道夫（リモート参加）
学術情報リサーチセンター長	北原 昭男（リモート参加）
国際教育交流センター長	レイヴィン・リチャード（リモート参加）
文学研究科長	虹林 慶（リモート参加）
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	牛田 卓也
欠 席：地域連携政策センター長	丸山 泰

監 事：公認会計士・税理士	河喜多 保典
：弁護士	本田 悟士
オブザーバー：アドミニストレーション研究科長	宮園 博光（リモート参加）

事務局：川元事務局次長、丸山総務課長、三隅教務入試課長、佐藤教務入試課入試班長、尾方教務入試課教務班長、

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

（1）審議事項

- ① 令和4年度（2022年度）春季入学入学者選抜（大学院文学研究科・秋季募集）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料1に基づき「春季入学入学者選抜（大学院文学研究科博士課程前期及び後期課程）における入試を9月25日に実施し、28日に文学研究科委員会において合否の判定を行ったのでご審議いただきたい」との説明があった。続いて、虹林研究科長から資料1-2に基づき、「前期課程日本語日本文学専攻（一般選抜）について志願者数、及び受験者数は1名。試験は、専門科目100点、面接30点で実施。総得点6割以上の合格基準を満たしている

ため合格としたい。」と説明があった。

引き続き、資料1-3に基づき、「前期課程日本語日本文学専攻（外国人留学生特別選抜）について志願者数、及び受験者数は3名。試験は、専門科目100点、面接30点で実施。総得点6割以上の合格基準を満たしている1名を合格としたい。」と説明があった。

資料1-4に基づき、「前期課程英語英米文学専攻（一般選抜）について志願者数、及び受験者数はそれぞれ2名。試験は、専門科目300点、面接100点で実施。2名とも総得点6割以上の合格基準を満たしているため合格としたい。」と説明があった。

資料1-5に基づき、「後期課程英語英米文学専攻（一般選抜）について、志願者数、及び受験者数は1名。試験は、専門科目150点、面接150点で実施。総得点6割以上の合格基準を満たしているため合格としたい。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 令和4年度(2022年度)春季入学入学者選抜（大学院アドミニストレーション研究科）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料2に基づき「春季入学入学者選抜（大学院アドミニストレーション研究科博士課程前期）における入試を9月25日に実施し、30日にアドミニストレーション研究科委員会において可否の判定を行ったのでご審議いただきたい」との説明があった。続いて、宮園研究科長から資料2-2に基づき、「前期課程について志願者数、及び受験者数は1名。試験は、英語100点、専門科目200点、面接200点で実施。総得点6割以上の合格基準を満たしているため合格としたい。なお、この学生は今回国際協力枠の初回の学生となる。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ アドミニストレーション研究科の入学定員変更について

アドミニストレーション研究科長から資料4に基づき、「同様の研究を行う他大学大学院が増えたこと、新型コロナウイルスにより社会人の志望が減ったことを踏まえ、現在の定員の確保が困難と見込まれるため、アドミニストレーション研究科の入学定員変更を行う」旨の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 教員の採用について

事務局総務課から、資料3に基づき、教員の採用について採用予定者、採用科目、採用予定日及びこれまでの審査の経過等について説明があった。

続いて、関係学部長から次のとおり説明があった。

・環境共生学部

環境共生学部長から資料3-3に基づき、「家庭科教育・調理科学（食育推進室の兼務）の採用人事について、公募に対し8名の応募があり、環境共生学部内で選考手続きを進め、今回の候補者1名を選定した。」との説明があった。

・総合管理学部

総合管理学部長から資料3-4に基づき、「福祉政策論」の採用人事について、公募に対し、20名の応募があり、総合管理学部内で選考手続きを進め、今回の候補者1名を選定した。」との説明があった。

引き続き、全学資格審査委員会議長である学長から、資料3-2に基づき、「環境共生学部の採用予定者については准教授での採用が適当である。また、総合管理学部の採用予定者については准教授での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 令和4年度(2022年度)入学者選抜実施方針の一部変更について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「第1回教育研究会議において令和4年度(2022年度)入学者選抜実施方針について審議済みであり、すでに公表しているが、6月以降文部科学省から『令和4年度大学入学者選抜実施要領』及び新型コロナウイルス対策関連の変更等がなされたことにより、本学の対応においても一部変更が生じたため、御審議いただくもの。審議後11月以降大学ホームページ等で公表予定です。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑥ アセスメントプランの作成について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「大学基準協会の認証評価において、ポイントの1つとなっているアセスメントに関して、現在の教育の把握、今後の改善を図るため指標の作成を行うもの。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

なし

4 その他

次回日程 令和3年度（2021年度）第8回 11月1日（月）午前10時～
CPDホール

5 閉会